



いる。資源ごみの分別についても同様である。市民に対し、地球温暖化対策のためにもごみ袋の有料化など、ごみ減量につながる応分の負担を求めるべきではないか。

答 ごみ袋の有料化に取り組む必要があるが、その前にやる必要があるのではないかと提言もある。まずは、プラスチック容器包装の分別収集と資源物の朝出し事業を実施する。その後、ごみ減量推進対策協議会に報告し、評価していただいた後に、ごみ袋の有料化の議論をしていきたい。

蒲郡市内における
ほ場整備の優先順位は

問 蒲郡市内におけるほ場整備は、豊岡、三谷地区の完了後が大塚地区と認識しているが、いかがか。

答 国道23号蒲郡バイパス関連である柏原地区を除けば、次期候補は大塚地区であると考えている。

喚田孝博（市政クラブ）

蒲郡駅東側での
駐輪場の確保を

問 鉄道高架事業も最終年度となり、蒲郡駅周辺整備事業が進捗している。駅東自転車駐輪場の撤去に伴って、駅西側の高架下駐



蒲郡駅東自転車駐輪場

輪場の整備が行われるが、駅東側にもきちんとした駐輪場を設置しなければならぬと考えるがいかがか。

答 JR東海は、駅舎東部の土地について自社利用を示唆しているが、高架下利用の協議の中で、駅東側においても駐輪場用地を確保できないか打診している。

若者自立支援サポート
について

問 市は、「がまごおり若者サポートステーション」とどのように関係を持ち、支援していくのか。

答 市は、「がまごおり若者自立支援ネットワーク協議会」を設置し、情報交換、関係機関との連携を図っている。今後は、市内、近隣市町への周知を図るとともに、官公署との連絡調整などの支援を行っていく。

日恵野佳代（日本共産党）

後期高齢者医療制度
の減免対策は



問 来年4月からの後期高齢者医療制度の導入に伴い、75歳以上の高齢者に対する負担が重くなり、未納者が増加する可能性が高い。低所得者への減免対策を求める。

答 県の広域連合で、減免措置について考えているので、これ以上広域連合に申し上げる考えはない。受診抑制は起こらないのではないかと考えている。

児童クラブの充実を

問 小学校4年生以上の児童の受け入れと、7時

30分からの開始を求める。指導員は8時から来ているので、少なくとも8時に部屋には入れるはずである。

答 小学校4年生以上の児童も受け入れるとなると、高学年を指導できる指導者の確保が非常に大きな課題となる。7時30分からの受け入れは難しい。

荘田博己（会派がまごおり）

緊急時における
救急医療体制は

問 近年、救急車の出場回数が増加傾向にあるが、軽症患者に出演して、重症患者からの要請に影響が出たケースはないか。

答 今のところ、軽症患者からの要請があつて、影響が出たようなケースはない。

問 救急車で搬送する優先順位を判断するための指針などはあるのか。

答 搬送順位を決めるような判断は、救急隊員が救命士の資格を有しているため、困難であるため実施していない。